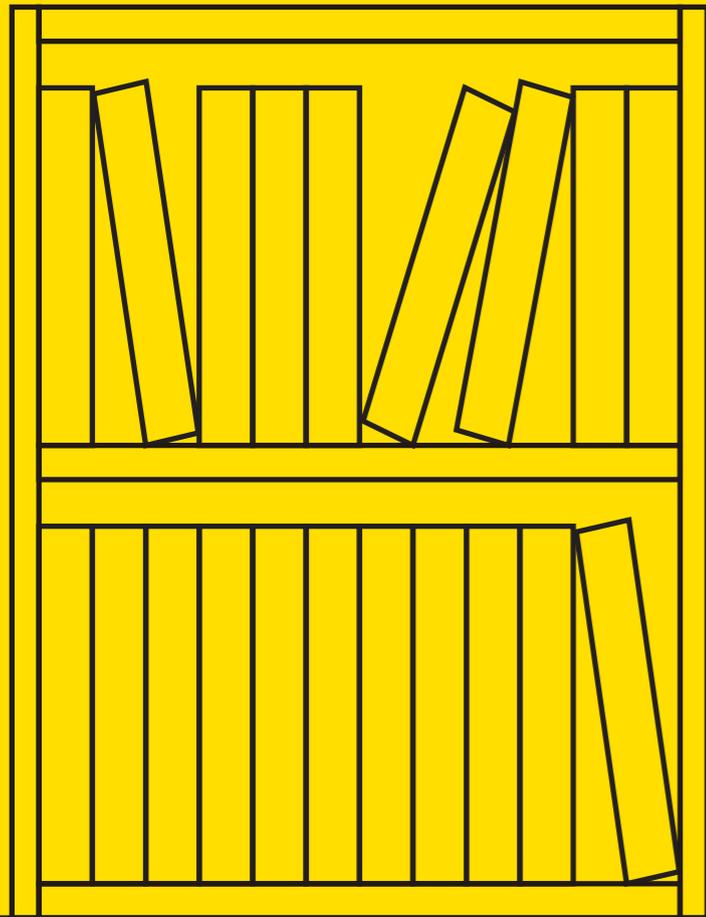


チャーリー



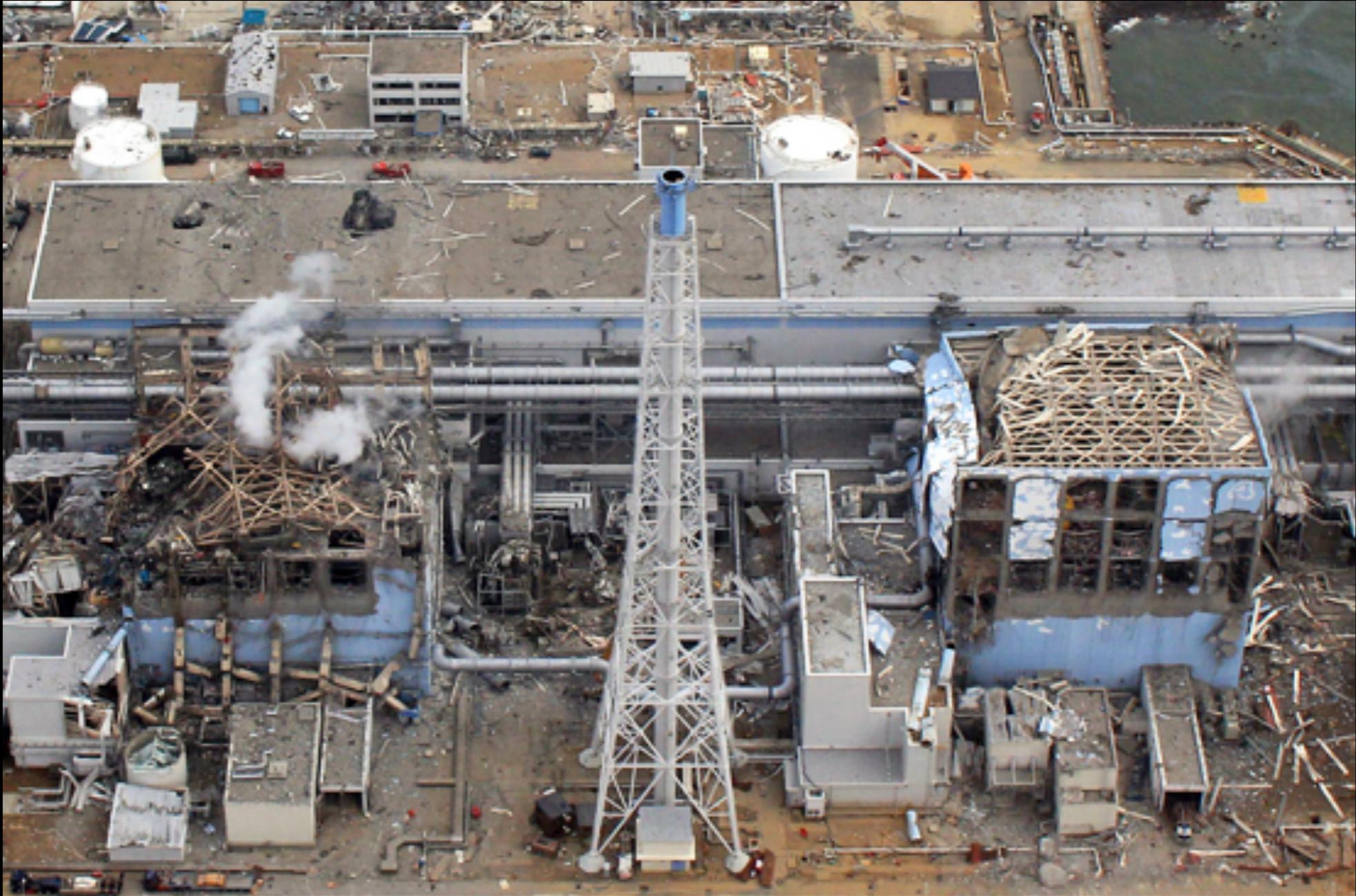
この度はこのような発表の場を
ご用意していただき、ありがとうございます。

**今回のご提案の背景から
説明させていただきます**

もう、少し前の話になってしまいますが…

2011年3月

東日本大震災



この事故を受けて…

日本各地の原子力発電所の閉鎖

生産可能な総電力量の減少

計画停電などの電力削減施策

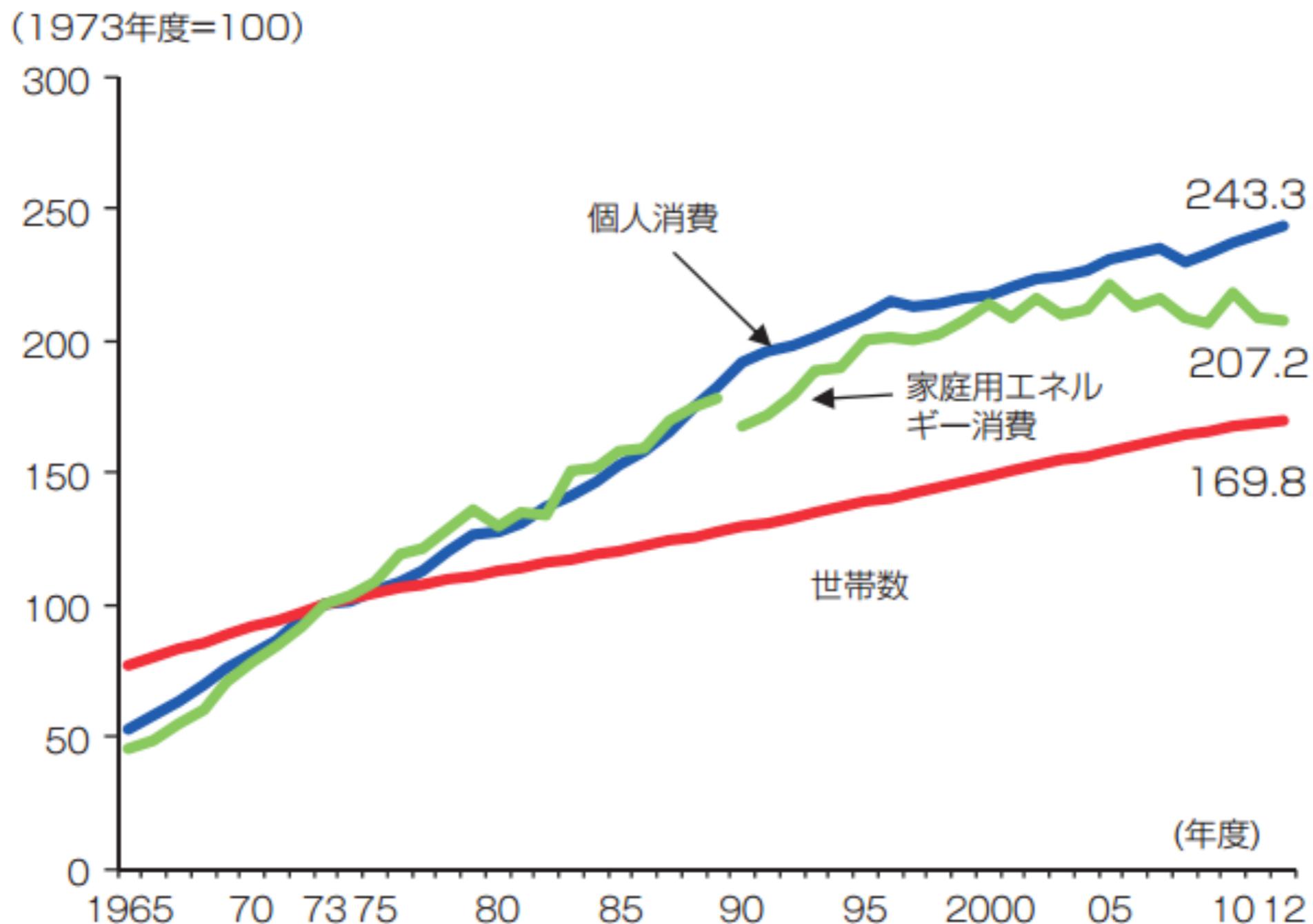
国をあげた電力削減施策

結果、消費電力量は減少しました

しかし、4年経った現在

家庭における個人あたりの
電力消費量が増加傾向にあります。

家庭部門におけるエネルギー消費の推移



出典： 内閣府「国民経済計算」、日本エネルギー経済研究所「エネルギー・経済統計要覧」、資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」、総務省「住民基本台帳」を基に作成

生産可能な電力量の減少

×

消費電力量の増加

深刻な電力不足

**一般生活者の節電意識の引き上げは、
日本にとって重要な課題です**

そのために企業や研究機関が
様々な取り組みを行ってきました

そのうちの代表的なもの
ひとつが見える化です







しかし、なかなか馴染まない。

問題仮説 1

**表示する情報が適切ではなく
なかなか見たいと思えないから？**

問題仮説 2

高齢者や子供にとって
グラフは難しいから？

様々な問題仮説が
たてられてきました

なぜ苦戦しているのか？

手段の目的化

そもそもその見える化のコンセプト
から問いなおしてみました。

目的

課題設定

手段

見える化

目的

課題設定

電力消費プロセスを認識可能にする



手段

見える化

目的

生活者のエコ意識の改善



課題設定

電力消費プロセスを認識可能にする



手段

見える化

目的

生活者のエコ意識の改善



課題設定

電力消費プロセスを認識可能にする



手段

見える化

???

スマートハウスが普及した未来

”見えるようにする”という手段以外にも

可能性は存在するはず

では、こういった手段がいいのか？

実際にヒアリングしてみました



主婦50代（兵庫県在住・3人家族・一軒家）HEMS見える化パネルユーザ



主婦50代（兵庫県在住・3人家族・一軒家）インタビューによる実際の声

「節電のために使ってる電力とかガスとか意識したいから見える化機能？最初は見えました。なんとなく目新しかったし。だけど、結局いまは見てないです。そんなによく見たくなるようなものじゃないし、**実際私だけ見ても子供や夫が気をつけてくれないと意味ないのよね。**子供に見せても説明しないとわからないし、夫は興味ないし。**節電とか気をつけたいけれど、結局請求書が送られてきてから使いすぎたなって反省することが多いです。」**

問題点まとめ

1. 「私だけ見ても子供や夫が気をつけてくれないと意味がない」
2. 「子供に見せても説明しないとわからないし、夫は興味ない」
3. 「節電しようという想いはあれど、結局請求書が送られてきてから使いすぎたと反省する」

ゴール設定

1. 能動的な行動を必要とせず、**受動的に認識可能**である
2. 年齢/性別/職業問わず、**誰にでも理解可能**である
3. **電力消費のプロセス**を意識することができる

GOAL

誰でも、受動的に、電力消費プロセスを意識できる

これら 3 つを同時に解決するもの…

悩みました

(ここに2ヶ月かかりました)

そんなある日…

!

コア・アイデア

硬貨の落下音を通じた
消費プロセスの”聞こえる化”

GOAL設定に対する答え

誰でも、受動的に、電力消費プロセスを意識できる

①誰でも

⇒ お金の落ちる音は年齢/性別/国境すら越える普遍的な音

②受動的に

⇒ 音は全方位に広がっていくため、能動的な行動が不要

③電力消費プロセスを意識

⇒ 電力消費がそのままお金の落下音になるため意識が向く

+ 擬似的な先払いシステム (※後にご紹介)



チャーリー

一言でいうと

電気料金の擬似的な先払いシステムと
電力消費プロセスの聞こえる化により
生活者の節電意識を高めるIoTデバイス

では、動画デモを御覧ください。

つづいて、本プロダクトを
構成するシステムのご説明です。

チャリーン システム概要図



以上が、プロダクトのご説明になります。

最後に

今回のご提案では

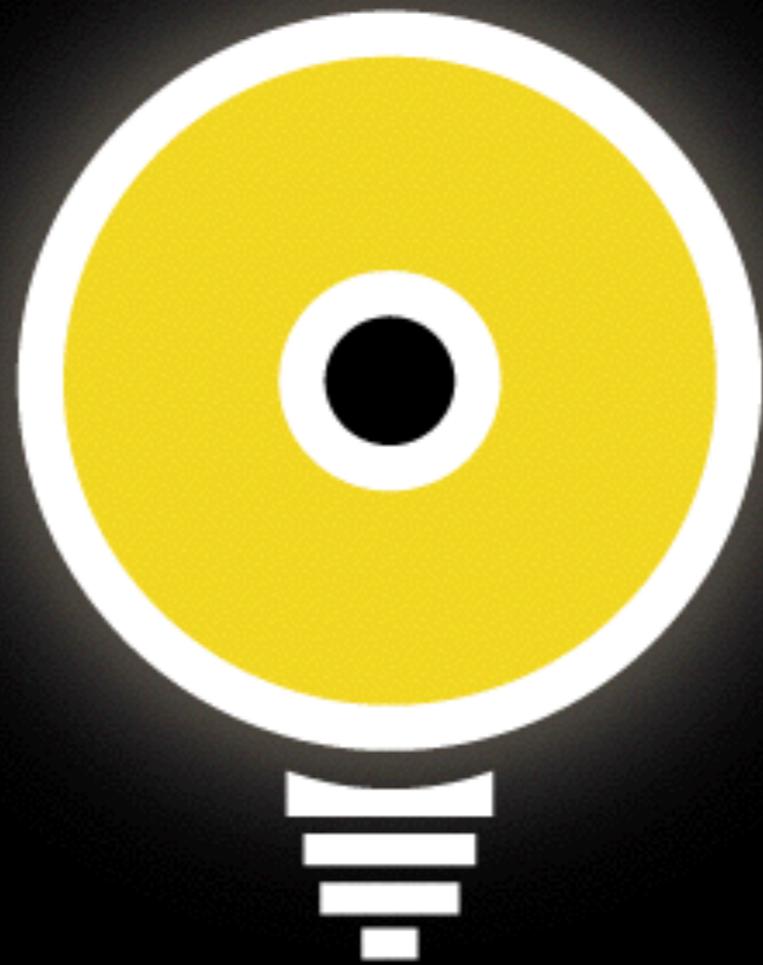
日本の家庭部門における個人の電力消費量の削減

という大きな課題を据えました。

たしかに大きな課題です。しかし、具体的なソリューションとしてプロダクトを普及させることで、一人ひとりの生活者の意識を変え、きっと素敵な未来に向かうと、我々は信じています。

チャリーンで、
みんなが、電気のこと、地球のことを
ちょっとだけ考える未来へ。

ありがとうございました。



チャーリー